マイナ保険証・資格確認証・資格情報のお知らせについて

マイナ保険証※が本格運用され、2024年12月２日以降は従来の健康保険証が新たに発行されなくなりました。現在、区が交付している国民健康保険被保険者証等は９月末に、後期高齢者医療被保険者証等は７月末に有効期限を迎えます。

75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者については 2026年７月末までの暫定的な運用としてマイナ保険証の登録や申請に関係なく資格確認書※が全員に交付されます。
一方 国民健康保険では、マイナ保険証に登録していない被保険者には資格確認書が交付され、登録している被保険者には資格情報のお知らせ※が交付されます。

高齢や障害等の事情からマイナ保険証での受診が困難な方は申請によって資格確認書を随時交付する予定ですが、制度を理解して申請することができない、申請をサポートする人がいない場合、従来通り保険診療を受けられないのではないかと心配されます。

また、マイナンバーカードの有効期限が切れた際には現在のしくみではマイナ保険証で確認できる処方箋や病歴などの保険情報が証明できない期間が生じてしまいます。

医療現場ではマイナ保険証、資格確認証、資格情報のお知らせ、と複数の資格情報を確認しなければなりません。
誰もが必要な保険診療を確実に受けられるためには国民健康保険においても、世田谷区や渋谷区が行っているように、マイナ保険証の登録や申請に関係なく被保険者全員に資格確認書の交付を求めます。

※ マイナ保険証：
健康保険証としての登録を行ったマイナンバーカード

※ 資格確認書：
マイナ保険証がないときに健康保険証の代わりとして使用する

※ 資格情報のお知らせ：
不具合などでマイナ保険証が使えないときにマイナ保険証と一緒に提示する

婚活イベントどう考えますか?

保健福祉委員会で子育て支援部から婚活事業についての報告がありました。この事業は結婚を希望する若者を支援するため、区の主催で婚活イベントやセミナーを実施するとともに、営利を目的としない区内の団体が行う婚活イベントに対して補助を行うものです。

９月23日に区の主催で開催予定の婚活イベントの委託契約費は83万2,500円、参加対象は独身の男女合わせて40人、参加費は3,000円です。婚活イベントの実施団体（非営利団体）への助成は上限30万円で３団体ほどを見込んでいるという報告がありました。

そこで、いくつか質問をしました。
どのような検討を経てこの事業実施を決めたのか、当事者である若者や婚活に詳しい人から情報は得ているのか、この事業の評価、申請する団体はどのような団体を想定しているのかなどです。

区の回答は、婚活についてどのような取り組みが成果につながるか分析できていない、若者の意見は聞いていない、カップリングの成立が一つの指標になるが目標数は考えていない、事業をできるだけ盛り上げたい、実施団体については NPO や町会を想定しているというものでした。

自治体による婚活事業が各地で実施され、十数年になりますが明確な成果は上がっていません。
民間に任せたらどうかという意見もありますが、自治体が税金を使って実施するのであれば、事業計画の策定にあたり、当事者や専門家への意見聴取、実施の意義の検討や具体的目標・評価指標を設定する必要があると考えます。

災害時の備えをすすめています　～ 個別避難計画について ～

2025年度に行われる個別避難計画作成支援モデル実施及び移送支援の取り組みについて報告がありました。

今年度は地域で高齢者や障がい者など、避難支援を必要とする人たちについて理解し、顔の見える関係づくりをすすめるため、区内４地区で個別避難計画の情報共有や実施可能な避難支援方法の検討を行います。また、水害高リスク者を自宅から介護タクシーを活用し直接福祉避難所へ移送する訓練が実施されます。

「個別避難計画」は災害時の避難に何が必要かを知るため、支援を必要とする一人ひとりの状況に合わせて事前に作成して災害時に備えるものです。
2021年の災害対策基本法の改正により「個別避難計画の作成」が自治体の努力義務となり、葛飾区では約 7,000人の避難行動要支援者※に対して計画が作成されています。

当初は要支援者の計画をつくるところからはじまったものですが、今では災害現場で役立つ計画にするため特に避難が困難な人の抽出を行い、町会との情報共有や命を救うための計画、しくみ作りに繋がっています。

この間、個別避難計画を作成しても「家族や支援者がおらず逃げることができない」「障がいがあり大勢の人と一緒に避難所で過ごすのはむずかしい」などの声を区に届け、当事者も参加する避難訓練の実施を求めてきたことが実現に向かっています。
今後も当事者の声を聴き、実効性のある提案をしていきます。

※ 避難行動要支援者：
高齢者や障がい者などのうち、災害時に自力又は家族の力だけで避難することが困難な方たち

沼田たか子のプロフィール

夫と息子の３人家族
葛飾区新宿在住

1976年 新潟県吉田町（現：燕市）生まれ。新潟大学医療技術短期大学部看護学科卒業。日本医科大学付属病院、新潟大学附属病院に勤務。結婚後、訪問看護師として働く。2011年 聖徳大学人文学部心理学科卒業。生活クラブ生協加入。2013年 葛飾区新宿に転居。子育てをしながら、生活クラブ生協まちかつしかの運営委員として活動。2017年より区内の訪問看護ステーションに勤務。
2021年 葛飾区議会議員選挙初当選（文教委員会、区民サービス向上対策特別委員会に所属）
2023年10月より保健福祉委員会、危機管理対策特別委員会に所属
2024年 6月会派結成 みらい葛飾（生活者ネット・無所属）副幹事長
2025年 葛飾区情報公開・個人情報保護審議会委員、葛飾区社会福祉協議会評議員。6月より危機管理対策特別委員会副委員長

●資格：看護師、心理相談員、介護支援専門員実務受講試験合格
●趣味：庭いじり、ヨガ

お手数ですが
85円分の切手
を貼付のうえ
投函ください

125-0054

東京都葛飾区高砂８-21-1
沼田 たか子 行

よろしければご記入ください

お名前：

ご住所：

電話番号：

メールアドレス: